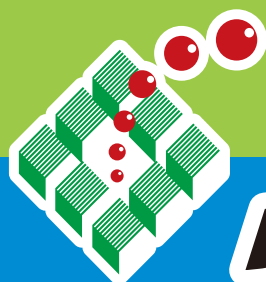


浸透移行性殺虫剤



スタークル®

液剤10

スタークルは三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社の登録商標です。

カメムシ類への斑点米防止に手ごたえあり!



だいたい・えだまめにも使えます!



空中散布、
無人航空機散布、
地上液剤少量散布
でも使えます!



イチモンジカメムシ



クモヘリカメムシ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



トゲシラホシカメムシ



トビイロウンカ



アカスジカスミカメ



ツマグロヨコバエ

斑点米カメムシ類防除はおまかせ！



農林水産省登録：第21259号 殺虫剤分類 4A

有効成分：ジノテフラン……10.0% 人畜毒性：普通物※

※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

1. カメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイに効果を発揮！特にカメムシ類には殺虫効果・吸汁阻害効果で、斑点米被害を効率的に防ぎます。
2. 空中散布・無人航空機に加えて、乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置(ブームスプレーヤなど)での散布にも使える液剤です。
3. だいず・えだまめの害虫防除にも使えます！また、休耕田のカメムシ防除にも活用できます。

■適用害虫および使用方法

(2021年12月22日付拡大登録内容を含む)

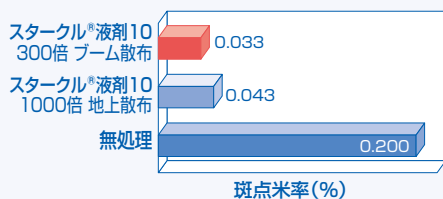
作物名・ 適用場所	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類、カメムシ類 ツマグロヨコバイ	1000倍	60～150ℓ/10a	収穫 7日前まで	3回以内	散布	4回以内 （育苗箱への処理及び側条施用は 合計1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回以内）
	ウンカ類、カメムシ類	300倍	25ℓ/10a			空中散布	
		30倍	3ℓ/10a			無人航空機による散布	
		8倍	0.8ℓ/10a				
	ウンカ類、ツマグロヨコバイ ウンカ類	16倍 30倍	1.6ℓ/10a 3ℓ/10a				
水田作物 畑作物 (休耕田)*	カメムシ類	1000倍	60～150ℓ/10a	—		散布	3回以内
だいこん	アブラムシ類	8～16倍	1.6ℓ/10a	収穫 7日前まで	2回以内		5回以内 （は種時の播溝土壌混和は1回以内、 は種時の全面土壌混和は1回以内、 粒剤の散布は1回以内、 水溶剤の散布、液剤の散布及び 無人航空機散布は合計2回以内）
らっきょう	アザミウマ類、ハモグリバエ類	8倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	10～16倍		収穫 3日前まで	2回以内		4回以内 （は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注 及び定植時の株元散布は合計1回以内、 生育期の株元灌注は1回以内、 散布、無人航空機散布及び 定植後の株元散布は合計2回以内）
だいず えだまめ	カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫 7日前まで		散布	3回以内 （は種時の土壌混和は1回以内、 散布、空中散布、 無人航空機散布は合計2回以内）
		8倍	0.8ℓ/10a			空中散布	
ブロッコリー	アブラムシ類	8～16倍	1.6ℓ/10a	収穫 3日前まで		無人航空機による散布	3回以内 （定植時の土壌混和及び灌注は 合計1回以内、散布及び 無人航空機散布は合計2回以内）
キャベツ					3回以内 （育苗期の株元散布、定植時の 土壌混和及び灌注は合計1回以内、 散布及び無人航空機散布は合計2回以内）		
いね科牧草					3回以内		
さとうきび					イナゴ類 カンシャコバネナガカメムシ		1000倍
		14倍	2.4ℓ/10a	無人航空機による散布			

■試験成績

*ヨシ、オギ、ススキ、セイトカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

水稻・カメムシ類への防除効果(地上液剤少量散布)

(2004年 社団法人 北海道植物防疫協会)

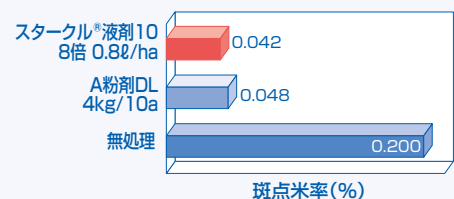


*2004年度「新農業実用化試験成績」(日本植物防疫協会)より一部転記

- 供試昆虫：アカヒゲホソドリカスミカメ
- 発生状況：少発生
- 品 種：ななつぼし
- 処 理：2004年8月2日、9日に、少量散布ブームスプレーヤ用ノズルを動力式散布器に設置し、25ℓ/10aを茎葉の裏面に散布した。対照剤は100ℓ/10aを散布した。
- 調 査：9月13日に各区40株を刈り取って乾燥し、精玄米で区当たり5000粒以上の斑点米調査を行った。

水稻・カメムシ類への防除効果(無人航空機散布)

(2002年 社団法人 福井県植物防疫協会)



*2002年度「産業用無人航空機受託試験成績書」(農林水産航空協会)より一部転記

- 供試昆虫：カメムシ類(ホソハリカメムシ、トゲシロホシカメムシ、アカヒゲホソドリカスミカメ、コバネヒョウタンナガカメムシ混発)
- 発生状況：少発生
- 品 種：ハナエチゼン
- 処 理：2002年8月6日に、ヤマハR-MAXを用いて所定量を散布した。対照剤は所定量を地上散布した。
- 調 査：収穫期に各区3ヶ所て10株刈取り後、玄米中の被害粒数を調査した。

△効果・薬害等の注意

- 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきってください。空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
- ①散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
- ②散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
- ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。

- ④散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカトラートンの塗料等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- ⑤作業終了後は次の事項を守ってください。
- (a)使用後の空容器は放置せず、適切に処理してください。
- (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないでください。
- ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

△安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちら。



万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記載しましょう。

*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
*本印刷物は2021年12月22日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

自然に学び 自然を守る



本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>

2272(23-6)